

委託事業実施内容報告書

実施内容報告書

団体名： 公益財団法人千葉市国際交流協会

1. 事業の概要

事業名称	対話型日本語教育の促進事業「ちば多文化協働プロジェクト」
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	千葉市に住む外国人市民は、2019年12月末現在約28,220人で1年前に比べ0.2%、4年前と比べて0.5%増加している。国籍別では、中国(43%)、韓国(12%)、フィリピン(9%)、ベトナム(9%)、ネパール(3%)が多いが、100以上の国籍の人がいる。在留資格では永住者(34%)、留学(13%)、技術・人文知識・国際業務(9%)、定住者(7%)で、技能実習なども増加していて、日本語教育のニーズも多様である。 H26年度以来5年間、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育実践プログラムBとして、対話を中心に据えた日本語教育の取組をおこない、外国人市民を主体的な発信者と捉えた内容重視・学習者主体の日本語クラスと、同コンセプトに基づく日本語学習支援者研修を実施してきた。また外国人市民と接する機会を持たない市民層を対象とした多文化理解の取組もおこなったことにより、当協会の学習システムの改革をはじめとして、各機関との連携も進み、体制整備が進んできた。さらに、2019年度は実践プログラムAとして、外国人が日常生活を営むための日本語能力等をコミュニケーションをとおして身につけるという目的に合う学習活動のための教材を作成し、日本語教育体制整備を進めることができた。 しかしながら、千葉市国際交流協会（以下、協会）の事業も含め、市内の約25か所の日本語教室でも、従来の日本語ボランティアの高齢化もあって日本語教育を担う人材は不足しており、増加する外国人市民への日本語教育の機会拡充のため、地域の多様な学習者に対応できる日本語指導者（日本語教師）の育成や、これまでに引き続き学習支援者の養成が必要である。また、対話と自己表現を重視する日本語教育の推進のため、学習者がより学びやすく、活動が充実したものとなるよう、作成した教材の改訂・追補と、普及も課題となっている。
事業の目的	多様な言語・文化を背景に持つ市民の地域参加と相互理解をめざした対話型日本語教育の質の向上と機会拡充
本事業の対象とする空白地域の状況（空白地域を含む場合のみ記入）	
事業内容の概要	1. 日本語教育 生活密着のテーマを取り上げ、対話と自己表現を重視する日本語教育を行うことにより、地域参加と人間関係構築に資する日本語コミュニケーション力向上を図る。ほとんど日本語ができない人を新たに対象に加え、幅広い層の外国人市民へ日本語教育の機会を提供する。 2. 人材養成研修 対話型学習活動を担う人材の養成・研修を行うことにより、日本語教育の質向上と新たな日本語教育人材の確保を図る。『日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版』を踏まえて、市民としての日本語学習支援者、専門人材である日本語教師、それぞれの役割の違いを明確にしながら協働によって効果的な日本語教育が実現できるように研修を構成する。昨年度作成した教材の活用方法も研修で取り上げ、教材の普及を図る。 3. 教材作成 昨年度作成した教材を用いて日本語クラスを実施、また、クラス実施や関係者からの意見等も踏まえて、生活上の身近なテーマで対話しながら理解と産出の能力の向上を図るための教材を改訂・追補する。
事業の実施期間	令和2年5月～令和3年3月（11か月間）

2. 事業の実施体制

(1)運営委員会

【運営委員】

1	上野 才智子	みどり土曜日本語学級
2	徳永 あかね	神田外語大学
3	藤井 美香	公益財団法人横浜市国際交流協会
4	東端 真吾	千葉市総務局市長公室国際交流課
5	萬浪 絵理	公益財団法人千葉市国際交流協会
6	鈴木 恵美子	公益財団法人千葉市国際交流協会



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	令和2年6月3日 (水) 15:00～17:30	2時間30分	オンライン	上野 才智子 徳永 あかね 藤井 美香 東端 真吾 萬浪 絵理 鈴木 恵美子	1. 事業概要(事業計画・事業内容・事業運営方針)の検討
2	令和2年10月28日 (水) 15:00～17:30	2時間30分	オンライン	上野 才智子 徳永 あかね 藤井 美香 東端 真吾 萬浪 絵理 鈴木 恵美子	1. 実施済み事業内容報告・質疑応答 2. 今後の事業内容検討

3	令和3年2月17日 (水) 15:00～17:30	2時間30分	オンライン	上野 才智子 徳永 あかね 藤井 美香 東端 真吾 萬浪 絵理 鈴木 恵美子	1. 事業内容報告・質疑応答 2. 事業評価について
---	---------------------------------	--------	-------	---	-------------------------------

(2)地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	市役所・区役所等（日本語教育と人材研修に関する広報協力、外国人支援に関わる行政職員への研修周知等） 地域日本語教室（対話型日本語学習活動の普及のため、日本語クラスや人材育成研修への参加） 千葉県国際交流協会（日本語教育と人材研修に関する広報協力）
------	---

(3)中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	日本語教育コーディネーターの萬浪は取組を企画、コーディネートする。日本語クラスに関しては、指導者を担当しつつ、中核メンバーである指導者への助言やふりかえり支援を行った。人材研修では講師を担当した。 協会職員の鈴木は事業総括・システムコーディネーターとして協会内部のリソースを生かし、取組の実現を支えた。クラス指導者、研修講師を一部担当した。 協会職員の末房は、事業担当として取組の事務を行った。 中核メンバーである指導者は協働メンバー・支援者やコーディネーターと協働しながら日本語教育の取組みを担った。 教材作成委員と協議を行いながら、教材作成を行った。 また、他機関と連携・協働するほか、随時、運営委員から助言や評価を受け、それを反映させつつ、適切な事業実施をした。
----------	---

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称： 自己表現と対話による相互理解をめざす日本語教育 】										
取組の目標		自己表現と対話をとおした日本語コミュニケーション能力および学習意欲の向上								
内 容		1. はじめての日本語クラス1 ほとんど日本語が話せない外国人住民向けに、ひらがな・カタカナの文字学習、挨拶や数字 2. はじめての日本語クラス2 はじめての日本語クラス1の修了レベルを対象として、自分や自分の生活について、生活に密着したテーマで話したり、書いたりできるようにすることを目標とする。 3. 初級クラス はじめての日本語クラス2の修了レベルを対象として、初級後半の文法も学びながら、日本語の基礎的な文を使って 話せるようになることを目標とする。 4. 読み書きクラス ひらがな、カタカナ、漢字の導入と練習、絵本やポスターづくりなどの自己表現をとおした読み書きの学習								
実施期間	令和2年6月3日～令和3年3月18日				授業時間・コマ数		1:1回2時間×5回×2期 2:1回2時間×25回×1期 1回3時間×17回×1期 1回2時間×10回×1期 3:1回2時間×10回×2期 4:1回2時間×10回×2期 計220時間			
対象者	日本語学習を希望する外国人、日本語学習支援者				参加者		総数 55人 (受講者 50人, 指導者・支援者等 5人)			
カリキュラム案活用	・「生活上の行為の事例一覧」を参考に、テーマ・トピックを選定した。 ・「教材例集」「ガイドブック」を参考にクラス活動の活動計画を立てた。 ・「教室活動の記録」「毎回の学習記録」を参考に、記録ノートや目標シートを作成し、振り返りを行った。 ・「ガイドブック」「指導力評価項目一覧」を参考に、プログラムの点検・改善を行った。									
使用した教材・リソース	「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案・教材例集、日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」、作成教材「わたしを伝える日本語」、「NEJテーマで学ぶ基礎日本語」、「YOKE日本語教室教材例集」									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	14	0	0	2	0	3	0	0	17	1
	アメリカ(1人)、インド(2人)、マレーシア(1人)、セネガル(1人)、スペイン(1人)、オーストラリア(1人)、トルコ(1人)、イギリス(1人)、ドイツ(1人)、イラン(1人)、エルサルバドル(1人)									
日本語教育の実施内容										
はじめての日本語クラス①										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	令和2年9月13日(日) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-①	ひらがな(あ～そ)、自己紹介、あいさつ		萬浪 絵理	1名(指導補助)	
2	令和2年9月20日(日) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第1期-②	ひらがな(た～ほ)、数字		萬浪 絵理	1名(指導補助)	
3	令和2年9月26日(土) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-③	ひらがな(ま～ん)、数字、なまえ		田中 久美		
4	令和2年10月3日(土) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-④	カタカナ、ねだん		田中 久美		
5	令和2年10月10日(土) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-⑤	国の名前、かんたんな形容詞		田中 久美		
6	令和3年1月19日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第2期-①	ひらがな(あ～そ)、自己紹介、あいさつ		萬浪 絵理		
7	令和3年1月22日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-②	ひらがな(た～ほ)、数字		田中 久美		
8	令和3年1月26日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-③	ひらがな(ま～ん)、数字、なまえ		萬浪 絵理		
9	令和3年1月29日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-④	カタカナ、ねだん		田中 久美		
10	令和3年2月2日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑤	国の名前、かんたんな形容詞		萬浪 絵理		

はじめての日本語クラス②								
					上段:参加者 下段:支援者			
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年6月16日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-①	『わたしを伝えるにほんご』を使った学習方法の説明／U.1マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現	萬浪 絵理	
2	令和2年6月18日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-②	作文の共有／U.2マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
3	令和2年6月23日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-③	U.2音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
4	令和2年6月25日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-④	作文の共有／U.3マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
5	令和2年6月30日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑤	U.3音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
6	令和2年7月2日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑥	作文の共有／U.4マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
7	令和2年7月7日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑦	U.4音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
8	令和2年7月9日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑧	作文の共有／U.5マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
9	令和2年7月14日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑨	U.5音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
10	令和2年7月16日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑩	作文の共有／U.6マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
11	令和2年7月21日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑪	U.6音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
12	令和2年7月28日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑫	作文の共有／「つながるひろがる」動画を使って市場についてQ&A,自分の国の市場について話す	田中 久美	
13	令和2年7月30日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑬	「つながるひろがる」動画を使って「お茶」「アウトドア」について話す／U.7マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
14	令和2年8月4日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑭	U.7音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
15	令和2年8月6日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑮	作文の共有／U.8マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
16	令和2年8月18日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-⑯	U.8音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
17	令和2年8月20日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-⑰	作文の共有／U.9マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
18	令和2年8月25日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	1	第1期-⑱	U.9音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
19	令和2年8月27日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	1	第1期-⑲	作文の共有／U.10マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
20	令和2年9月1日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-⑳	U.10音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
21	令和2年9月3日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-㉑	作文の共有／U.11マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
22	令和2年9月8日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-㉒	U.11音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	

23	令和2年9月10日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-㉓	作文の共有／U. 11まとめ／U. 12導入 ／最終回の作文導入	萬浪 絵理	
24	令和2年9月15日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第1期-㉔	U.12音源を使用した発話練習／自 己表現／作文	田中 久美	
25	令和2年9月17日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-㉕	作文発表・共有・まとめ	萬浪 絵理	
26	令和2年10月17日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	7	第2期-①	『わたしを伝えるにほんご』を使った学 習方法の説明／U. 1マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習／U. 2導 入	田中 久美	
27	令和2年10月24日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-②	U.2音源を使用した発話練習／自己 表現／作文導入／作文	田中 久美	
28	令和2年10月31日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	7	第2期-③	作文の共有／U. 3マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習／自 己表現／作文導入	田中 久美	
29	令和2年11月7日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-④	作文の共有／U. 4マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
30	令和2年11月14日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑤	音源を使用した発話練習／自己表 現／作文導入／作文／まとめ①	田中 久美	
31	令和2年11月21日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑥	U.5マスターテキストの理解／音源を 使用した発話練習／自己表現／作 文導入	田中 久美	
32	令和2年11月28日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑦	作文の共有／U. 6マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
33	令和2年12月5日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6 1	第2期-⑧	音源を使用した発話練習／自己表 現／作文導入／作文／まとめ②	田中 久美	
34	令和2年12月12日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑨	U.7マスターテキストの理解／音源を 使用した発話練習／自己表現／作 文導入	田中 久美	
35	令和2年12月19日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑩	作文の共有／U. 8マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
36	令和3年1月9日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	5 1	第2期-⑪	音源を使用した発話練習／自己表 現／作文導入／作文／まとめ③	田中 久美	
37	令和3年1月16日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑫	U.9マスターテキストの理解／音源を 使用した発話練習／自己表現／作 文導入	田中 久美	
38	令和3年1月23日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	5	第2期-⑬	作文の共有／U. 10マスターテキスト の理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
39	令和3年1月30日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	6	第2期-⑭	音源を使用した発話練習／自己表 現／作文導入／作文／まとめ④	田中 久美	
40	令和3年2月6日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	5	第2期-⑮	U.11マスターテキストの理解／音源 を使用した発話練習／自己表現／ 作文導入	田中 久美	
41	令和3年2月13日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	5	第2期-⑯	作文の共有／U. 12マスターテキスト の理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
42	令和3年2月20日(土) 9:30～12:30	3	オンライン	4	第2期-⑰	自己表現／作文導入／作文／作文 発表	田中 久美	
43	令和3年2月5日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	7	第3期-①	『わたしを伝えるにほんご』を使った学 習方法の説明／U. 1マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習／自己表 現	田中 久美	
44	令和3年2月9日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	7	第3期-②	作文の共有／U. 2マスターテキストの 理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
45	令和3年2月12日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第3期-③	U.2音源を使用した発話練習／自己 表現／作文導入／作文	田中 久美	

46	令和3年2月16日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	7	第3期-④	作文の共有／U. 3マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	萬浪 絵理	
47	令和3年2月19日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第3期-⑤	U.3音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	田中 久美	
48	令和3年2月26日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第3期-⑥	作文の共有／U. 4マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
49	令和3年3月2日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	7	第3期-⑦	U.4音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	萬浪 絵理	
50	令和3年3月5日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	7	第3期-⑧	作文の共有／U. 5マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
51	令和3年3月9日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第3期-⑨	U.5音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文	萬浪 絵理	
52	令和3年3月12日(金) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第3期-⑩	作文の共有／U. 6マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習	田中 久美	
53	令和3年3月16日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	7	第3期-	音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入／作文／まとめ③	萬浪 絵理	

初級クラス					上段:参加者 下段:支援者			
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年6月3日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-① U. 13 毎日の生活	『NEJ』を使った学習方法の説明／U. 13 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
2	令和2年6月10日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-② U. 14 わたしの楽しみ	前回テーマの作文の共有／U. 14 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
3	令和2年6月17日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-③ U. 15 わたしの将来	前回テーマの作文の共有／U. 15 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
4	令和2年6月24日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-④ U. 16 できること・できないこと	前回テーマの作文の共有／U. 16 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
5	令和2年7月1日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第1期-⑤ U. 17 プレゼント	前回テーマの作文の共有／U. 17 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
6	令和2年7月8日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑥ U. 18 親切・手助け	前回テーマの作文の共有／U. 18 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
7	令和2年7月15日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑦ U. 18 親切・手助け	前回テーマの作文の共有／出身地について話す	田中 久美	
8	令和2年7月22日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑧ U. 19 訪問	前回テーマの作文の共有／U. 19 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
9	令和2年7月29日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑨ U. 20 ほめられたこと・しかられたこと	前回テーマの作文の共有／U. 20 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
10	令和2年8月5日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑩ U. 20 ほめられたこと・しかられたこと	前回テーマの作文の共有／「つながるひろがる」防災を活用し、防災について話す	田中 久美	
11	令和2年11月10日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第2期-① U. 13 毎日の生活	『NEJ』を使った学習方法の説明／U. 13 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
12	令和2年11月17日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第2期-② U. 14 わたしの楽しみ	前回テーマの作文の共有／U. 14 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
13	令和2年11月24日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	5 1	第2期-③ U. 15 わたしの将来	前回テーマの作文の共有／U. 15 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
14	令和2年12月1日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	4 1	第2期-④ U. 16 できること・できないこと	前回テーマの作文の共有／U. 16 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
15	令和2年12月8日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	3 1	第2期-⑤ U. 17 プレゼント	前回テーマの作文の共有／U. 17 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
16	令和2年12月15日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑥ U. 18 親切・手助け	前回テーマの作文の共有／U. 18 マスターテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
17	令和2年12月22日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑦ U. 18 親切・手助け	前回テーマの作文の共有／出身地について話す	田中 久美	

18	令和3年1月12日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑧ U.19 訪問	前回テーマの作文の共有／U.19マスタートテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
19	令和3年1月19日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑨ U.20 ほめられたこと・しかられたこと	前回テーマの作文の共有／U.20マスタートテキストの理解／音源を使用した発話練習／自己表現／作文導入	田中 久美	
20	令和3年1月26日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑩ U.20 ほめられたこと・しかられたこと	前回テーマの作文の共有／「つながるひろがる」防災を活用し、防災について話す	田中 久美	
読み書きクラス								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年10月8日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-①	クラスの進め方、「わたにほ」U.1漢字／作文導入	萬浪 絵理	
2	令和2年10月15日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-②	U.1作文共有／「わたにほ」U.2漢字	萬浪 絵理	
3	令和2年10月22日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第1期-③	U.1の作文共有／「わたにほ」U.2漢字	萬浪 絵理	
4	令和2年10月29日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	6	第1期-④	U.2の作文共有／「わたにほ」U.3漢字	萬浪 絵理	
5	令和2年11月5日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-⑤	U.3の作文共有／「わたにほ」U.3漢字	鈴木 恵美子	
6	令和2年11月12日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-⑥	U.4の作文共有／「わたにほ」U.4漢字	鈴木 恵美子	
7	令和2年11月19日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-⑦	U.5の作文共有／「わたにほ」U.4漢字	萬浪 絵理	
8	令和2年11月26日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第1期-⑧	U.5の作文共有／「わたにほ」U.5・U.6 漢字	萬浪 絵理	
9	令和2年12月3日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑨	U.6作文共有／「わたにほ」U.6漢字	萬浪 絵理	
10	令和2年12月10日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第1期-⑩	U.6の作文共有	萬浪 絵理	
11	令和3年1月7日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第2期-①	「自己紹介」作文／「大切な物、気に入っている物」作文導入・作文	田中 久美	
12	令和3年1月14日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第2期-②	前回作文共有／「わたにほ」U.7漢字	田中 久美	
13	令和3年1月21日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第2期-③	U.7作文共有／「わたにほ」U.8漢字	田中 久美	
14	令和3年1月28日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第2期-④	U.8作文共有／「わたにほ」U.9漢字	田中 久美	
15	令和3年2月4日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	5	第2期-⑤	U.9作文共有／「わたにほ」U.10漢字	田中 久美	
16	令和3年2月18日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第2期-⑥	U.10作文共有／防災について	田中 久美	
17	令和3年2月25日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	4	第2期-⑦	U.10作文共有／U.11漢字確認	田中 久美	
18	令和3年3月4日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	2	第2期-⑧	U.11作文共有 U.11漢字	田中 久美	
19	令和3年3月11日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第2期-⑨	U.12作文共有 U.12漢字	田中 久美	
20	令和3年3月18日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第2期-⑩	まとめ(作文共有、漢字)	田中 久美	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

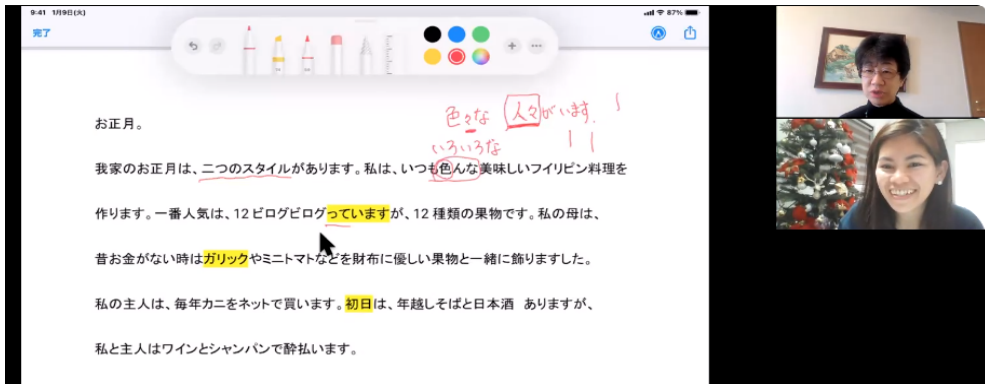
○取組事例① はじめての日本語クラス2

【第I期-㉓ 令和2年9月10日】
1) ユニット11のまとめ：『わたしを伝える日本語』ユニット11の作文発表およびその内容についての確認や対話をおこなった。ユニット11のテーマは「防災」であった。参加者から、台風直後に離島を訪れたときの様子や、出身国の台風についての発表があり、参加者同士や講師との間で質問やコメントをしあった。
2) ユニット12の導入：テーマは「わたしの考え」である。教材付属の動画のうち、「アミットさんの話」を見ながら、単語や新しい表現の確認をおこなった。参加者からは、ストーリーを絵と文字で追いながらさまざまな質問や確認が出された。「～したほうがいいです」「～たり～たりします」という新表現について参加者が積極的に例文を作った。
3) 次回に向けて：クラスが残り2回となったため、最終発表で各自の「考え」を話せるよう講師がサンプルを示し、クラスで学んだ表現を自由に使うように促した。



○取組事例② 読み書きクラス

【第7回 令和2年11月19日】
自宅課題となっていたとなっていたユニット4の漢字について読み方、熟語などを確認した。その後、各自が書いてきた作文を画面共有しながら、本人や他の参加者が読み上げた。使われているさまざまな表現について、修正が必要なところは、他の学習サイトも画面共有しながら活用形や構文を確認した。漢字語彙は、関連する熟語をリストアップしながら、単漢字の意味を学習した。ユニット5の漢字について各自読み仮名や書き順を自習の後、全員で共有した。



(2) 目標の達成状況・成果

アンケート結果・学習者の成果物・および授業記録から、自己表現と対話をととした日本語コミュニケーション能力および学習意欲の向上を評価した。まず日本語能力の向上については、各ユニットのテーマにおける学習者の作文や発話記録から、効果的に基礎的な日本語知識と自己表現能力が身についたことが確認できた。
オンライン授業の録画からは、ブレイクアウトルームにおいても各ユニットのテーマに沿ったQAや自分の話の発表、それに対する質疑が活発に行われていたことが確認された。
ユニット内容に関するやりとりばかりでなく、グループ活動の進行や、意思疎通がうまくいかないときの修復プロセスにも日本語を用いて工夫がなされていた。
また学習者には、クラス出席以外に、Padletに作文をアップロードしたり、添削ファイルを確認したりする作業が課されたが、ほとんどの学習者が意欲的にツールを活用していた。
グループワークやオンラインツールの活用によって、学習者同士の協働学習が高いレベルで実現できたと言える。使いたいことば、わからない表現は自律的に調べることを前提にした学習活動の実践により、リソースを活用しながら自律的に日本語習得を進めていく能力も育成することができた。
「クラスについていくためにさぼらず勉強が進められた」「楽しい勉強だった」などのアンケートコメント、および、授業内での学習者の表情などから、学習意欲を高める日本語教育が実現できたと捉えられる。

(3) 今後の改善点について

オンラインクラスは、対面の会場まで遠い人、時間に制約のある人にも参加しやすいというメリットがある一方、通信環境が整っていることが参加の前提となる。Wi-fiや端末がない人々の参加ニーズにどう応えていくのかが課題である。オンラインクラスに関するアンケート結果では、80%以上が「全体的に授業にはスムーズに参加できた」、「オンライン授業用ツールはスムーズに使用できた」と回答、また、オンライン授業の満足度も非常に高くなっていることから、今年度の学習プログラムの実践は非常にスムーズで、オンライン日本語教育は大きな効果を上げたと言える。推察に過ぎないものの、それはもしかしたら参加者にオンライン学習に参加できるだけのリテラシーと適応力があつたからかもしれない。
初めて日本語を学ぶ入門レベルのクラスもオンラインで実施し、そのあとのクラスにつなげたが、本当に一言も話せない、全くひらがなを知らないという人の参加はなかった。潜在ニーズへの対応が求められる。
学習プログラムについては、1回3時間とした土曜クラスは2時間のクラスと異なるサイクルとなり、教材の区切り方が難しいという課題があつた。引き続き検討が必要である。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称： 相互理解を図りながら日本語学習の支援ができる人材の養成・研修】

取組の目標		自己表現と対話を中心とする日本語教育において参加者と相互理解を図りながら日本語学習を支援できる「日本語学習支援者」および「生活者としての外国人を対象とする日本語教師」の育成								
内 容		1. 「オンライン日本語交流のため講座」—オンラインで日本語交流を行うための基礎知識を学ぶ。 2. 「オリジナル教材『わたしを伝える日本語』を使う日本語教師＆支援者研修」 協会オリジナル教材「わたしを伝える日本語」を活用した日本語クラスの、「日本語教師」「学習支援者」の育成を行う。実践的な研修を実施する。「日本語教師」には、生活者対象の日本語教育の特徴、日本語学習支援者との協働の方法、教材の使い方、ふりかえり重視の授業の進め方、作成教材の活用方法、また、「学習支援者」にはクラス支援の方法などを盛り込む。								
実施期間	令和2年11月24日～令和3年3月6日				授業時間・コマ数		1. 1回2時間 × 3回 × 3期 2. 1回2時間 × 6回 × 1期 計 30時間			
対象者	日本語教師【初任】、日本語学習支援者				参加者		総数 95人 (受講者 92人, 指導者・支援者等 3人)			
カリキュラム案活用	・「生活上の行為の事例一覧」「教材例集」を使って学習活動のテーマを選定したり、活動の流れを考えたりする演習を行う。 ・学習者のふりかえりを支援できるよう「日本語学習ポートフォリオ」について取りあげる。 ・活動の振り返りができるように「ガイドブック」「指導力評価項目一覧」を活用する。 ・「学習支援者に望まれる資質・能力一覧表」を参考に、研修を構成する。									
使用した教材・リソース	オリジナル教材「わたしを伝える日本語」									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内 訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシ ア	ペルー	フィリピン	日本
	13									72
	南アフリカ(1人)、インド(1人)、イラン(1人)、カンボジア(1人)、コロンビア(1人)、台湾(2人)									

養成・研修の実施内容

オンライン日本語交流のための講座

上段: 受講者 下段: 外国人参加者									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	令和2年11月24日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	10	第1期-①	zoomの基礎	萬浪 絵理		
2	令和2年12月1日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	10	第1期-②	オンライン交流のポイント	萬浪 絵理		
3	令和2年12月8日(火) 10:00～12:00	2	オンライン	10 8	第1期-③	外国人参加者と実践	萬浪 絵理		
4	令和3年1月21日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第2期-①	zoomの基礎	萬浪 絵理		
5	令和3年1月28日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3	第2期-②	オンライン交流のポイント	萬浪 絵理		
6	令和3年2月4日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	3 5	第2期-③	外国人参加者と実践	萬浪 絵理		
7	令和3年2月20日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	10	第3期-①	zoomの基礎	鈴木 恵美子		
8	令和3年2月27日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	10	第3期-②	オンライン交流のポイント	萬浪 絵理		
9	令和3年3月6日(木) 10:00～12:00	2	オンライン	11 8	第3期-③	外国人参加者と実践	萬浪 絵理		

オリジナル教材『わたしを伝える日本語』を使う日本語教師&支援者研修								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和3年1月20日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	45	教材の目標と構成	『わたしを伝える日本語』の概要説明、「わたしの話」を伝え聴きあう演習	萬浪 絵理	
2	令和3年1月27日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	45	自己表現活動の日本語教育とマスターテキスト	マスターテキストアプローチの考え方を理論的な背景から説明	西口 光一	1名(講師補助)
3	令和3年2月3日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	46	学習活動の進め方	教室実践の録画を交えて、学習活動の進め方を紹介	萬浪 絵理	
4	令和3年2月10日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	43	動画の活用方法	対面およびオンラインクラスでの動画教材の活用方法を紹介	萬浪 絵理	
5	令和3年2月17日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	45	文法・文型の扱い／学習サイトの活用	各ユニットにおける文法・文型事項の扱い方について事例紹介	萬浪 絵理	
6	令和3年2月24日(水) 10:00～12:00	2	オンライン	45	多文化共生のための地域日本語教育	本教材を使った日本語教育がめざすもの、理念の共有	萬浪 絵理	

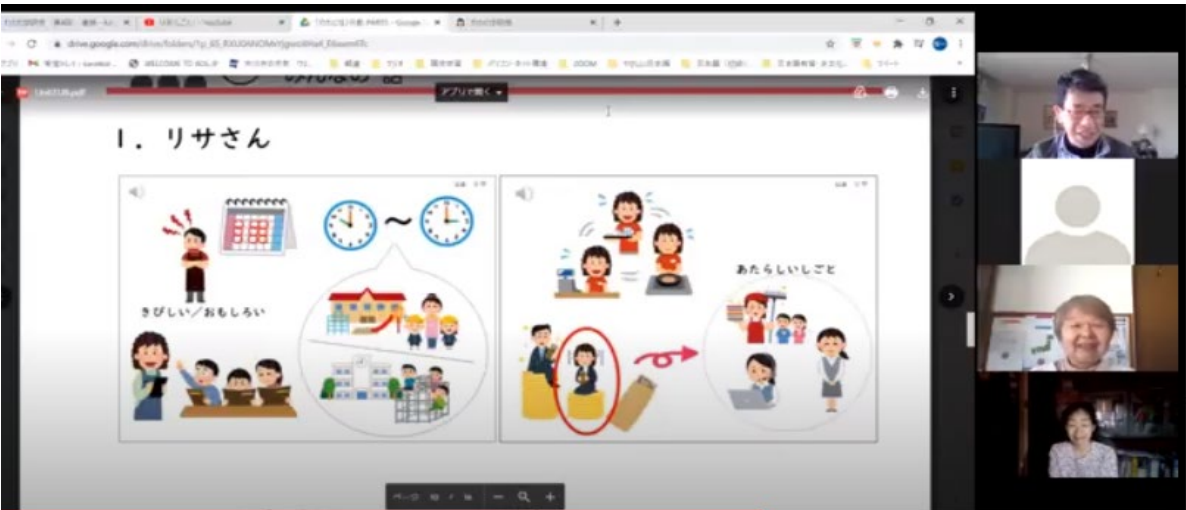
(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例① オンライン日本語交流のため講座

【第1回 令和2年11月24日】
マイクやビデオ、画面共有、チャットの方法などのZoomの基本機能、また、オンラインならではの良い点、不便な点、気を付ける点などを学んだ後、グループワークを行い学んだことを実践してみた。普段、1対1で外国人と交流・対話活動をおこなっている交流員は横のつながりが薄い
が、オンライン講座をとおして身近な話題で他者と話す楽しみが共有された。また、終了時に参加者のひとりから、自主的に「別の日に練習しよう」という呼びかけが行われ、日にちが設定された。

○取組事例② オリジナル教材『わたしを伝える日本語』を使う日本語教師&支援者研修

【第4回 令和3年2月10日】
第4回のタイトルは、「動画の活動方法」であった。『わたしを伝える日本語』のマスターテキストをアニメーション化した動画がYouTubeにアップされている。それをクラスの中でどのように使うか、対面およびオンラインのそれぞれの実践例を動画で見せながら解説した。動画を利用したシャドーイング、ストーリーの内容理解、対話へのつなげ方などを紹介した。次に、ブレイクアウトルームに分かれ、1、2名が動画を画面共有しながら、ストーリーの内容理解のための質問をしたり、その質問を利用して参加者本人についてきいたりする、というワークをおこなった。また、自身の実践に取り入れる場合の課題についてもグループで意見交換してもらった。研修の最後にチャットで一言感想を入れてもらったところ、「絵があるとわかりやすい、楽しい」といったコメントが並んだ。



(2) 目標の達成状況・成果

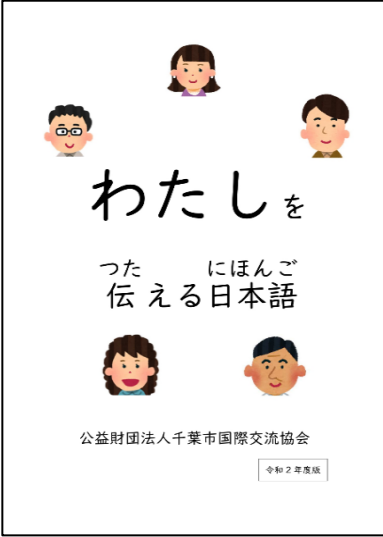
1の研修は、今まで対面での日本語交流をとおした日本語習得支援をおこなってきた経験のある交流員に対して、オンラインでも1対1の活動ができるように実施したものである。「楽しく学べ、今後の交流に役立つ講座だった」「対面にはない良さがある」などのアンケートコメントから、対面の活動ができない状況においてもオンラインで日本語支援の機会を維持することにつながる研修ができたと言える。
2の研修は千葉市近隣のみならず、全国から50名近い参加者があった。研修では、文化庁委託事業で昨年作成した『わたしを伝える日本語』の使用
方法の紹介をとおして、大きくは、多文化共生のための日本語教育(学習支援)という目的について考える機会を提供することができた(アンケートコメント「共生の意味を改めて考えさせられる研修だった」「対等」や「共生」という理念が「わたにほ」実践に落とし込まれている」等)。また、研修では各自が自身の学習支援の実践をふりかえりながら改善していくことができるようなプログラムを立てた。「仲間にも広めていきたい」「自律学習・創造・共生の知識はあったが実践には至らず模索していた。「わたには」は学習者だけでなく支援者も使ってみたくなる」などのふりかえりコメントから、相互理解促進をめざす協会教材の理念が各地の日本語教育の実践に落とし込まれるきっかけづくりとなったことが窺える。

(3) 今後の改善点について

研修2の実施をとおして、全国各地の地域日本語教育の実践現場に教材や学習プログラムにおける課題があることがわかった。同じ教材を用いても、市民参加の日本語教室と言語保障としての日本語教育ではそれぞれの特徴を生かした学習プログラムが求められる。現場や教材使用者に適した学習プログラムの提示方法を引き続き考えていくことが必要である。今回の研修には地域日本語教育に関わる日本語学習支援者と、日本語教師や協会等のコーディネーターがほぼ半数ずつ参加しており、混成または役割別グループで、課題や役割について議論できたことが高く評価された。一方、継続的な対話の場を求める声も多く挙がったが、千葉市国際交流協会は全国の日本語教育人材の育成や学習プログラムの普及を担っていく立場にない。こうしたニーズにだれが応えていくのか、研究組織や文化庁等でぜひ検討していただきたい。

日本語教育のための学習教材の作成 【 教材の名称 :わたしを伝える日本語(改訂版) 】

取組の目標	日本語指導者、学習支援者、他の学習者とともに学習し、①自分や自分の生活について、生活に密着したテーマで話したり書いたりできる、②協働学習と自律学習の方略を学ぶことができる教材の作成		
内 容	昨年度作成した教材の①試行による改善 ②多言語翻訳 ③マニュアルや関連リソースの整備		
実施期間	令和2年5月 日～令和3年3月19日	作成教材の 想定授業時間	1回 2時間 × 36回 = 72時間
対象者	日本語学習者(入門・初級・中級)、日本語指導者、日本語学習支援者	教材の頁数	約150 ページ
カリキュラム案活用	・「生活上の行為の事例一覧」「ガイドブック」を用いて、教材作成者間で情報共有する。 ・「教材例集」を参考に教材内容を検討する。 ・「教室活動の記録」「毎回の学習記録」を参考に、教材を使用する日本語学習者が目標設定と自己評価をするためのシートを作成する。		
事業終了後の教材活用	協会における日本語教育で活用、また地域日本語教室や企業内日本語支援の現場で活用してもらえるよう、Web公開。		
成果物のリンク先	https://www.ccia-chiba.or.jp/ https://www.youtube.com/playlist?list=PLdvMCZD_p_eYwa9sHBFxcoXix2cAv_ehl		



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

多様な言語・文化を背景に持つ市民の地域参加と相互理解をめざした対話型日本語教育の質の向上と機会拡充

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

本事業では上記の事業目的を達成するために、①自己表現と対話を柱とする日本語教育の実施、②同日本語教育普及のための人材育成、③同日本語教育のための教材の拡充の3つを取組とした。それぞれの項目で記述したとおり、アンケート結果や実践記録によって各取組には成果が顕著に認められた。今年度はコロナ禍によって急遽すべての取組をオンラインで実施することになったが、特に日本語教育における成果は大きく、動画を含む『わたしを伝える日本語』を使った対話型の学習プログラムがオンラインクラスにも非常に適していることを認識した。また、育成研修には地域を超えて日本語教育や学習支援に携わる多様な立場の日本語教育関係者が参加した。そして「生活者としての外国人」に対する市民参加の日本語学習支援や、教師が担う基礎日本語教育での目的と具体的な学習活動のあり方について、体験と対話をとおして学び合う場を提供することができた。③の教材開発においては、教材とその使用をとおした理念の普及のために、関連リソースの作成によって使い勝手の向上を図ることができた。これらの成果から、事業の目的は果たされたと考えている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

作成教材『わたしを伝える日本語』の各ユニットのテーマを生活上の行為に紐付ける形でカリキュラム案を活用している(ユニットテーマとカリキュラム案項目の関連については、教材の構成ページ参照)。本教材を使った学習プログラムでは、実用会話ができることの前に、他者とつながるためのまとまった自己表現能力をつけるよう図っている。よって、「人とかわかる＞自身を豊かにする／他者との関係を円滑にする」という項目を目標としているユニットが多い。日本語教育の取組では、それらのテーマで学習者同士がお互いを伝え、聴き合うという活動をとおして目標が達成されていた。気づいたこととして、カリキュラム案の項目には「人とつながる」ことや「社会の一員となる」ことを日本語学習の目標にするという視点が薄い。カリキュラム案の「社会の一員となる」の下に立てられている項目は「地域・社会のルール・マナーを守る」と「地域社会に参加する」(自治会や行事参加)という受動的／同化的な行為であり、持てる能力を活かして外国人に地域社会の力になってほしいという希望が感じられない。『わたしを伝える日本語』の教材およびその学習活動は、カリキュラム案に不足している視点について問題提起するものであると考える。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・地域の日本語教室、市役所関連機関と連携し、日本語クラスの広報を行うことができた。
- ・地域の日本語学校と連携し、人材育成の広報を行い、人材を募集・育成することができた。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

- ・当協会ホームページやフェイスブックで日本語クラスや人材育成研修の募集を掲載し、広く周知した。
- ・区役所、保健センター、出入国管理局出張所、ハローワークでも日本語クラスのちらしを掲示してもらい、より多くの外国人へ参加募集を行った。
- ・日本語教育事業のフェイスブックを利用して、広く当事業の報告を行った。

(6) 改善点、今後の課題について

オンラインを活用した日本語教育の利点を活かし、より多くの潜在学習ニーズに応えていくことが課題である。教材については、日本語教師が使う場合の効果的な学習プログラムはある程度定形が固まった。更には、地域の日本語教室等で利用しやすい形で提案していく必要がある。日本語学習支援者・日本語教師の育成については、地域を超えて共通する課題が見えた。一地域の国際交流協会だけでは解決できない課題であることから、より大きな視点で地域日本語教育の学習プログラム策定や人材育成のニーズに対応する機関が必要である。

(7) その他参考資料

ちらし